

市民が池田市の魅力をレポートする
“市民記者”として、地元・池田の
情報を発信します。

今月の市民記者
青木 清男さん



広告会社での制作経験をいかし、
大学で講師を務めた後、現在も編
集教室で文章指導。地域の広報
やイベント活動にも参画しながら、
ゴルフと川柳を楽しむ団塊シルバー。
「楽しい情報を求めて奔走します!」

取材先

「池田日本語ボランティア友の会」の皆さん

言葉を通じて「日本」の良さを伝えられる喜び

まもなく設立から30年を
迎えるこの会の副会長であ
る門脇安紀さんに、活動内
容について伺いました。

「池田市ならびにその近
隣市町に在住か勤務する外
国人とその家族に日本語支
援を行うことで、日々の生
活をスムーズに過ごしても
らい、国際交流にも貢献し
たい」とのお答え。

学習者とはマンツーマン

原則マンツーマンで週1
回(90分)の学習支援を行
い、3カ月ごとにボラン
ティアが代わります。学習
希望者との組み合わせをさ
れている鼓重子さんは、「先
生が代わることでいろいろ
な経験ができて勉強にな
る」という学習者の声があ
るというそうです。

所属のボランティア会員
は現在45人、学習者は最多
で70人ほどでしたが、コロ
ナ禍で現在は36人。東南ア
ジアから来日している企業
の社員や技能実習生とその

家族が中心で、大阪大学の
留学生もおられます。

ぜひ現場の様子を...

「神田北会館」を訪ねた日
のボランティアは向仲純治
さん。学習者のサンデー
さんはインドから来日し
て7年目で、企業で車のデ
ザインを手がける技術者で
す。「職場が英会話中心な
ので、日本語の上達はなか
なか難しい。でも先生から
いろんな話が聞け、新しい
言葉を知れてとても良かつ
たです!」と。好きな言葉
は「ありがとう」と「すみま
せん」。「趣味は卓球です」
と、上手な日本語で答えて
くれました。



3カ月の学習支援を終えた二人

日本の良さも知ってほしい
向仲さんは活動歴7年
目。この広報誌で友の会の
存在を知りました。

前職での国際経験や文化
について話すこともあり、
「外国の方への日本語支援
以外にも時間外の交流など
も楽しんでいきます」と。サ
ンデーブさんとは、五月
山公園を散策したこともい
い思い出だそうです。

学習者のまじめさに感服

この日は後任の塩原芳雄
さんを交え学習内容などの
引継ぎが行われました。

前会長でもある塩原さん
からは、「日本で仕事をしな
がら勉強し夢を実現したい、
という学習者のキラキラ輝
く目を見られるのが一番の
やりがいです」との言葉が。

親睦が目的の「国際交流
のつどい」などで、転勤や
帰国した学習者から「また
池田に帰りたい」と言われ
るのが何よりもうれしいそ
うです。



昨年の交流会(てるてる広場にて)

取材した皆さんに将来の
目標をお聞きすると「また
増えるであろう外国人のサ
ポートを続け、できれば支
援活動や交流の拠点をもち
たい」との夢も。
外国から来た学習者さん
の明るい笑顔は、友の会の
皆さんの熱い想いのたまも
のだと感じました。

お問い合わせ

連絡先

池田日本語
ボランティア友の会

お気軽にお
問い合わせ
ください。

